



岐阜大学 (岐阜県)



日本語をみがく秋学期、日本文化に親しみ論文に集中する春学期

■大学紹介

① 大学の特色および概要

●岐阜大学は、5学部、9大学院研究科、学内共同教育研究支援施設、全国共同利用施設、図書館、医学部附属病院などからなる総合大学です。本学は「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」「革新的イノベーション創出プログラム（COI STREAM）（COI）プログラム」に採択されるなど、広い分野にわたって質の高い教育・研究が行われています。

●岐阜大学のある岐阜市は、東京から約2時間（新幹線利用）、大阪や京都から約1時間（同）、名古屋から約20分という交通の便に恵まれた地方都市です。キャンパスのある柳戸地区は、岐阜駅からバスで約30分、自然豊かな田園地帯にあります。静かな環境に恵まれ、落ち着いた雰囲気の中で勉学に集中することができます。

●学部及び学生数等（平成29年5月現在）

○学部＝教育学部・地域科学部・医学部・工学部・応用生物科学部

○大学院＝教育学研究科・地域科学研究科・医学系研究科・工学研究科・応用生物科学研究科・自然科学技術研究科・連合農学研究科・連合獣医学研究科・連合創薬医療情報研究科

○教員 862名

○学生 学部生 5,705名 大学院生 1,618名
研究生・聴講生 118名 合計 7,441名

② 国際交流の実績（平成29年10月現在）

●現在、18か国47大学1機関と学術交流協定を結んでおり、活発な国際交流を行っています。

●留学生在籍数 379名（約7割が大学院生、28か国から）

●外国人研究者在籍数 6名

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生（日研生）の受入れ実績

2017年：留学生数 379人、日研生 8人

2016年：留学生数 350人、日研生 4人

2015年：留学生数 366人、日研生10人

④ 地域の特徴

●岐阜県は、日本のちょうど中央にあります。北部には高い山々が連なり、南部には清らかな川が流れています。日本の美しい自然と古き良き文化が残っており、伝統と現代とが調和した生活が見られる地域です。織田信長が城を構えた地としても有名です。

●岐阜県には、高山・郡上など、全国的に有名な観光地があります。岐阜市でも、中央を流れる長良川では伝統的な鵜飼が行われ、そのほか多くの文化資源に恵まれています。

●岐阜市は、人口約40万人の中規模都市です。大都市より物価が安く、地域コミュニティ間の交流も活発なので、留学生活を送るのに適した地域です。



■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的に日本事情・日本文化に関する研修を行う約1年間のコース(b)です。

② コースの特色

●日本語能力のレベルに応じて、日本語クラスを受講することができます。そのため、段階的で効果的な日本語能力の向上が可能となっています。

●多彩な日本文化科目を開設しています。受講生の興味・関心に従ってこれらの科目を受講することになります。

●1年間(秋期・春期)で効果的な学習ができるよう、本コース受講生対象のクラスを設けています。

●能・狂言・歌舞伎・相撲の鑑賞、茶道実習、博物館見学などを行い、伝統文化に触れます。

●岐阜県内(郡上市・土岐市など)および近県へ数回、見学や実習の旅行に行きます。

●岐阜大学留学生対象の旅行にも参加することができます。

●日本人学生と交流するクラスも設置しています。また、日本人学生および学部留学生用の授業を履修することも可能です。

●日研生をサポートするチューターがいます。

●本コース修了後、日本の大学院に再留学する修了生も少なくありません。

●修了生の感想をぜひごらんください：

[http://www1.gifu-](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/)

[u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/](http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/voice/)

③ 受入定員

10名（大使館推薦5名、大学推薦5名）

※大使館推薦の学生は優先的に受け入れます

④ 受講希望者の資格、条件等

- 在籍大学において日本語・日本文化を主専攻とする学部学生（2年生以上）であること。
- 日本語能力試験N2合格以上、あるいはそれに相当する日本語力を有していること。

⑤ 達成目標

- 日本語能力の向上を目指すとともに（日本語能力試験N1合格以上）、実体験を通して日本文化についての広い知識を学びます。
- 修了論文作成を通して、研究および論文執筆の基礎を身につけます。

⑥ 研修期間

2018年10月1日 ～ 2019年8月31日
修了式は8月下旬を予定（2017年は8月22日）

⑦ 研修科目の概要

- 授業は秋期・春期原則各15週開講されます。
- 必要単位数は40単位です。
- 授業科目名は変更される場合があります。

1) 必須科目

- 一週間あたりのコマ数(1コマ=90分)は下記のとおりです。

【授業科目及び授業コマ数・単位数】

授業科目	秋期	春期	計
総合日本語	5 (5単位)	—	5 (5単位)
全学共通教育科目	—	2 (4単位)	2 (4単位)
日本語読解演習	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語文章表現	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語口頭表現	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)
日本語聴解演習	1 (2単位)	1 (2単位)	2 (4単位)

現代日本の社会	1 (2単位)	—	1 (2単位)
日本事情CⅡ	1 (2単位)	—	1 (2単位)
日本の表象文化	1 (2単位)	—	1 (2単位)
地域実見	1 (2単位)	—	1 (2単位)
岐阜の地域文化	—	1 (2単位)	1 (2単位)
論文指導	—	1 (1単位)	1 (1単位)
修了論文	—	4 (4単位)	4 (4単位)
合計	13 (21単位)	8 (19単位)	21 (40単位)

【日本語科目】

- 「総合日本語」
中上級レベルの文法・語彙・口頭表現・文章表現など、総合的な日本語能力の向上をはかります。
- 「日本語読解演習」「日本語文章表現」「日本語口頭表現」「日本語聴解演習」
個別の日本語能力の上達をめざします。

【日本文化科目】

- 「現代日本の社会」「日本の表象文化」「地域実見」「岐阜の地域文化」
日本の社会と文化を学び、自国の社会と文化との相違を認識します。これらは本コース受講生のために設定されている科目です。
- 「日本事情CⅡ」
日本人学生とのディスカッションを通して、多文化社会についての理解を深めます。

【論文指導】

問題意識を高めた上で、論文の作成に進みます。論文完成後、岐阜大学サテライトキャンパスで論文発表会を開催します。

●2017年度岐大日研生の修了論文テーマ

- ・日本人女性とタイ人女性の化粧意識・行動の比較
- ・北欧人の行動様式 —「ヤンテの法」とは何か—
- ・韓国人の日本認識について —姜沆(カンハン)の『看羊録』を中心に—
- ・日本のあいさつ語の特徴及び日中あいさつ語の比較

2) 見学、地域交流等の参加型科目

秋期には、県内見学旅行、伝統衣装装着体験が、春期には、能楽ワークショップ、茶道実習、陶芸体験、大相撲観戦、歌舞伎鑑賞等が予定されています。「地域実見」では、岐阜城や博物館の訪問、柿狩体験や岐阜和傘製作も行います。地域の観光振興プロジェクトへの参加も予定されています。

3) その他の講義、選択科目等

大学の全学共通科目を選択して、日本語・日本文化研修コースの一部として履修することも可能です。ただし、十分な日本語能力と担当教員の許可が必要です。

⑧ 年間行事

- 10月：秋学期ガイダンス・開講式
- 11月：大学祭、県内見学旅行
- 12月：論文テーマ決定、日本の伝統衣装
- 4月：春学期ガイダンス、茶道実習（～7月）
- 5月：郡上踊りワークショップ
- 6～7月：陶芸体験、大相撲観戦、能楽ワークショップ
- 7月：歌舞伎鑑賞
- 8月：修了論文提出、修了論文発表会、論文審査、成績判定、修了式



⑨ 指導体制

- 留学生センター教員が責任教員となり、責任をもって勉学・生活面の指導をします。
- 責任教員のほかに、留学生の専門分野や興味・関心をもつ分野の関係教員が、協力教員として指導にあたります。

【責任教員】

氏名	所属	職名	専攻
森田晃一	留学生センター	教授	日本文化史
土谷桃子	留学生センター	教授	日本文学

【協力教員】

上記以外の留学生センター教員、地域科学部・教育学部の教員、非常勤講師など

⑩ コースの修了要件

- 日本語・日本文化研修コースで規定されている講義科目を受講し、出席率を満たした上で、一定の成績を修めて必要単位を取得すること、修了論文を執筆し口頭発表することが修了要件です。
- 単位認定・単位互換は、在籍大学との交渉を通じて可能です。在籍大学に確認してください。



■宿 舎

- 岐阜大学には、大学内に外国人留学生・研究者用の宿泊施設である国際交流会館があります。
- 日本語・日本文化研修コース受講生は、この宿舎が優先的に提供されます。過去の本コース受講生は、全員本宿舎に入居しています。



【国際交流会館】

鉄筋コンクリート4階建（A棟）・5階建（B棟）
部屋数 単身室69室・夫婦室14室・家族室7室
（単身室A棟5,900円/月・B棟4,700円/月）



■修了生へのフォローアップ

- 岐阜大学の日研生コース修了者の特色は、再来日し日本の大学院に入る学生が多いことです。日本への再留学を希望する学生には、随時進路相談に乗っています。
- 過去には、岐阜大学をはじめ、全国各地の国立大学の大学院に進学しています。
- 大学院修了後、日本で就職した学生、帰国して日系企業に就職した学生がいます。
- 本コース修了生がたびたび岐阜大学を訪問してくれることを、とても嬉しく思っています。Facebookでも継続的に交流しています。

■問合せ先

<担当部署>

岐阜大学グローバル推進本部留学支援室
住所：〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1-1
TEL： +81-58-293-2146（直通）
FAX： +81-58-293-2143
Email： direcent@gifu-u.ac.jp

<ウェブサイト>

岐阜大学ホームページ
<http://www.gifu-u.ac.jp/>
岐阜大学留学生センターホームページ
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/index.html>
（Facebookもご覧ください）
日研生コースページ
http://www1.gifu-u.ac.jp/~isc/jp/international/jp_program/

